



水平社宣言から100年

宣言（現代語訳）

全国に散らばっている、我々差別をつけている人々よ、団結せよ。

長い間、いじめられてきた仲間たちよ、明治になって五十年の間、平等だといわれても、実際はそうではなかった。同情やあわれみでは差別はなくならないのだ。このことを思えば、今、我々自身から、人間を尊敬することによって、自らの自由と平等をもとめる集団運動を起すことは、当然のことである。

仲間たちよ、我々の祖先は自由と平等を心から求めて実行してきた者であった。厳しい支配政策の犠牲者であり、たくましく社会や文化を支えてきた者であった。心を引きさかれるようなごんごんにきびしい差別の中でも、人間としての誇りは失わなかった。そして、今、その犠牲者の我々が差別を投げ返す時がきたのだ。

我々が差別を受けてきた者であることを誇りうる時がきたのだ。我々は、自分自身を低くみたり、臆病になったりして、これまでたくましく生きてきた祖先をはずかしめたり、人間の尊厳をおかしたりしてはならない。人の世がごんごんに冷たいか、人間を大切にすることが本当はどんなことであるかをよく知っているからこそ、我々は、

心から人生の熱と光を求め、その実現をめざすのである。

水平社はこのようにして生まれた。人の世に熱あれ、人間に光あれ

大正十一年三月三日

全国水平社創立大会



(荊冠旗)

これは、今から100年前に発表された「全国水平社宣言」の現代語訳です。被差別部落に住む若者たちが、根拠もなく差別をされる苦しい胸の内を語り合い、差別のない社会をつくらねばならないという強い思いをもって立ち上がりました。それが「全国水平社」の設立です。

この創立大会の中で採択された「水平社宣言」は、西光万吉が主に書き上げたもので、後に日本で最初の人権宣言と言われるようになりました。「人の世に熱あれ、人間に光あれ」という最後の一節からは、互いの人権を大切にすることを強く求めるエネルギーを今なお感じさせられます。

ご存知ですか？

部落差別解消推進法

正式名称を「部落差別の解消の推進に関する法律」といい、二〇一六年十二月十六日より公布・施行された法律です。この法律の重要なところは、「現在もなお部落差別が存在する」との認識が法律で新たに示されたことにあります。また、日本国憲法の理念にのっとり、「部落差別は許されないものである」「解消することが重要な課題である」ということも明記されました。その背景には、インターネット上で、動画投稿サイトや掲示板を使って、部落に対する偏見や誹謗中傷、不正確な情報の拡散などが今も行われており、差別の拡大や悪質化が進んでいることが挙げられます。人々の間で一方的な排除や格差により作られたこの差別を解消するのは、今を生きる私たちの正しい認識と行動だと思います。



奈良県にある水平社博物館も今年3月3日にリニューアルオープンしました。

総 会 宣 言

「人の世に熱あれ、人間に光あれ」
 今年は水平社宣言から 100 周年の年である。
 にもかかわらず、差別に苦しむ仲間がいる。
 インターネット社会は差別表現を容易にさせた。
 それでも私たちは鋭い眼差しで阻止しなければならない。

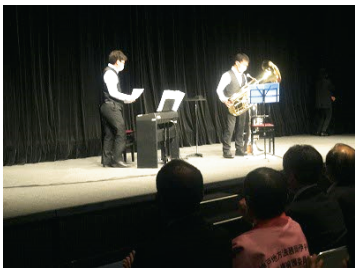
世界では、ロシア軍がウクライナに侵攻した。
 住宅のみならず病院、避難者のいる学校も攻撃した。
 まさに弱い立場の人々の命をも奪うのが戦争だ。
 戦争の愚かさや悲惨さを知っている私たちは、
 平和の鐘を鳴らし続けなければならない。

コロナとの闘いは、まだまだ続く。
 ウイルスはワクチン、治療薬を物ともしない勢いである。
 弱い立場の子どもたちをも狙い始めた。
 大人は子どもを守らなければならない。

あれもこれも、強者が弱者をいじめ、苦しめる。
 今こそ私たちは声を上げよう、
 「世界に平和あれ、人々に平等と自由、そして幸せあれ」と。

2022年5月19日

宝塚市人権・同和教育協議会



オープニングの様子



2022年度宝同協役員を紹介します

宝同協定期総会



2022年度の宝同協定期総会が5月19日にソリオホールで開催されました。111名（委任状219名）のみなさんが出席され、3年ぶりに開催できました。

オープニングでは、宝塚市教育委員会指導主事の加藤謙太さんと村瀬尚登さんに楽器演奏を披露していただきました。

和久会長による総会宣言ののち、議事が進行されました。昨年度の活動報告、会計報告、監査報告が承認され、今年度の役員選出、活動方針案、予算案が可決されました。今年度も活発で実りある活動にしていきたいです。総会後には、兵庫県人権啓発DVD『夕焼け』を鑑賞して閉会しました。

2022(令和4)年度 宝同協 選出役員

役 職 名	名	前	部 会 名
会 長	わ 久 有 彦	あり ひこ	社会教育部
副 会 長 (総務担当)	かん 理 香	り か	社会教育部
副 会 長 (研究担当)	はやし 純 子	じゅん こ	社会教育部
副 会 長 (啓発・広報担当)	ひら 平 松 友 紀	まつ ゆ き	社会教育部
副 会 長 (調査・記録担当)	むろ さき とし ひろ	室 崎 俊 洋	社会教育部
副 会 長 (会計担当)	ひら やま しん 審	やま しん 審	学校教育部
学 校 教 育 部 部 長	ひら やま しん 審	やま しん 審	学 校 教 育 部
社 会 教 育 部 部 長	かわ かつ よう いち	川 勝 陽 一	社 会 教 育 部
行 政 部 部 長	ちか なり かつ ひろ	近 成 克 広	行 政 部
企 業 部 部 長	みけつてい (未決定)		企 業 部
校 区 人 権 啓 発 部 部 長	きた じま しょう ぞう	北 島 昭 三	校 区 人 権 啓 発 部
監 査	ご 後 藤 憲 一	ご 藤 憲 一	学 校 教 育 部
監 査	みや べ ひろ こ	宮 部 広 子	社 会 教 育 部

兵庫県人権啓発DVD「夕焼け」

今回の作品のテーマは「ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～」です。

相手が家族や親しい人であっても、毎日誰かの介護や世話をすることは身体的、精神的、さらには経済的にも大きな負担がかかります。特にヤングケアラーは学校に通い、教育を受け、友人と交流を通して成長する重要な時期でもあるにもかかわらず、その状況が周囲から見過ごされることが多いという問題があります。

主人公瑠衣は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族でするのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活するヤングケアラーです。しかし、元ケアラーの灯との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品ではお互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーと家族がかかえる問題解決の糸口になる様子を描きます。(上映時間 35分)

※兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会「企画のねらい」より

(学校教育課で貸出しています。)

DVDをご覧になった方からの感想

私は認知症の親と同居している。誰かにしんどさを知ってほしいと思うが言ったところで何も変わらないというシーンは自分のことのように実感があつた。

世の中にこんなにしんどい生活をしている子どもが身近にいるかと思うと自分にできることは何だろうと考えた。

10年前に私が勤めていた学校にも生活が一変した生徒がいた。今、振り返ると、その生徒もケアラーだったと思う。学校だけでなく地域でも対応するシステムをつくることも必要。社会の中で支援を確立しないと「笑顔」につながらない。

連載 夢と希望はユリウツ ②二つの国の民話

ウクライナには素晴らしい民話があります。ロシアにも素敵な民話があります。

みなさんもよくご存じの民話です。ウクライナの民話は「てぶくろ」です。子どもたちもぎつと、幼稚園や保育所で先生に読み聞かせしてもらったと思います。「てぶくろ」のお話は、子犬をつれたおじいさんが森の中で落とした手袋に次々と動物が入ってくるお話です。くいしんぼのネズミ、ぴよんぴよんガエル、はやあしウサギ、おしゃねギツネ、さらにはオオカミにイノシシと。ぎゅうぎゅう詰めになりながらも誰も文句は言わないし喧嘩もしません。譲り合って仲良く過ごします。そこへのっそりグマがやってきます。もう満員！ さあどうなるでしょう。

ロシアの民話は誰もが知っている「おおきなカブ」です。おじいさんがカブを植えました。甘い甘い大きなカブができました。おじいさんはカブを抜こうとしますが抜けません。おじいさんはおばあさんを呼んできました。おばあさんは孫を、孫はイヌを、イヌはネコを、ネコはネズミを呼んできて、みんなで力を含わせて引くとカブは抜けました。というお話です。

どちらの民話も人であれ動物であれ、違いがあっても集まれば仲間です。共に仲良く生きていく、仲間は助け合うことで幸せに生きていけるお話です。

民話はその地域に住む人々の暮らしの中から生まれると言われます。雪国なら炬燵や暖炉で温もりを感じながら、漁村であれば潮の香りや波の音を感じながら、段々畑の田舎であれば土の匂いや草の感触を感じながら、それぞれの地域の風土の中で生まれるのでしょう。そして、そこで暮らす人々の生き抜く夢や希望を宿すのが民話でしょうね。

ウクライナにもロシアにもそこで暮らす人々の生活があります。誰からも壊されないはずの家や土地があります。それを守るのには平和です。決して戦争ではありません。

日本で暮らすウクライナの人々に平穏が戻りますように！
日本で暮らすロシアの人々に差別や中傷が終わりますように！
と祈りながら、両国の民話を改めて読んでみたいものです。

【和久】



阪神同教研究大会

7月30日(土)、第69回兵庫県人権教育研究大会 阪神地区大会が、西宮市立平木小学校、西宮市立平木中学校で行われます。

今大会は、新型コロナウイルス感染症に対し最大限の安全対策を講じて実施するため、500人に規模を縮小して開催します。

宝同協からの分科会発表者は下記のとおりです。

岡本 由香さん(宝塚市立末成幼稚園)

テーマ

互いの気持ちを伝え合い、分かち合う仲間づくり

杉山 佳子さん(宝塚市立安倉小学校)

テーマ

基礎基本の力(学力・生活力・コミュニケーション力)をつけるために

良澤 健さん(宝塚市立高司中学校)

テーマ

外国籍生徒の学習指導と進路指導

小田 益造さん(宝塚市立長尾台小学校PTA)

テーマ

今、保護者が思う人権問題とは
～コロナ禍におけるアンケートの取組～

研究大会について

○兵人教研究大会(オンライン)

9月24日(土)

尼崎市立小田中学校

○全人教研究大会

11月26日(土)・27日(日)

奈良県 奈良市

2022年度 第12回 宝同協研究大会 「人権交流学びのつどい」のご案内

テーマ 『あなたに伝えたい わたしの思い』

日時: 2022年11月19日(土) 13:30~16:30

場所: 宝塚市立教育総合センター

日程: 全体会 13:30~14:00

分科会 14:10~16:30



【昨年度の分科会の様子】

分科会テーマ(仮)

- ★ 子どもの人権を考える
- ★ 障害のある人との共生
- ★ さまざまな性について考える
- ★ 学校園所の人権教育
- ★ 部落問題を考える
- ★ 外国人の人権を考える
- ★ ジェンダー平等を考える

自由に思いを語り合える集いの場に参加しませんか

解 放 文 化 祭 の

お 知 ら せ

くらんど解放文化祭 10月27、28日
両日ともに9~19時まで

またに解放文化祭 11月10、11日
10日: 9~21時 11日: 19時まで

ひらい解放文化祭 11月11、12日
両日ともに9~20時半まで

内容: 子どもの作品、人権文化センター事業についての展示等

小学生・中学生・高校生・養護学校生のみなさん 『10年後のわたし』作品ぼしゅう

- ◆ おうぼできる日 2022年7月1日(金)～9月9日(金)
- ◆ おうぼできる人 宝塚市の小学生・中学生・高校生・養護学校生
- ◆ おうぼないよう 『10年後のわたし』
- ◆ おうぼほうほう 400字までとします。用紙は自由です。
用紙の最後に住所、名前、電話番号、学校名、学年を書く。
ゆうそう・ファックス・もちこみ どれでもよい。
- ◆ おうぼのしかた
- ◆ おうぼさき

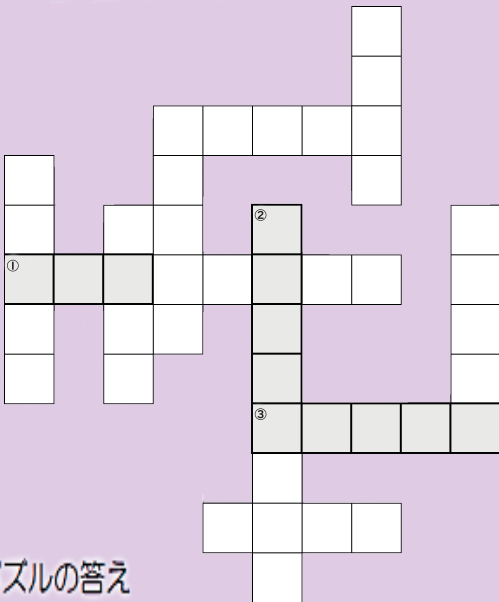
665-8665 宝塚市東洋町1-1
宝塚市教育委員会 学校教育課内 宝同協あて
ファックス 0797-71-1891



- ◆ にゅうしょう ゆうしゅう作品3点ていど 1人3,000円のとしよけん
- ◆ はっぴょう 2022年11月19日(土)「人権交流学びのつどい」にて

☆ 主催・選考は宝塚市人権・同和教育協議会（宝同協）です。
 ☆ 入賞作品の著作権・使用権などの権利は宝同協に帰属します。
 ☆ 入賞作品は宝同協の印刷物で活用しますが、一部修正することがあります。
 ☆ 連絡先は 電話 0797-77-2040（人権教育担当）です。

芽生えパズル



パズルの答え

【木下】

①				②					③					
---	--	--	--	---	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--

<スケルトンパズル>

○たて・よこのマス目に下の文字をうまくあてはめます。
 ○太いマス目に入った文字を並べ替えてある言葉にします。
 （答えは下にあります。）

- 8字 いつもありがとう えがおであいさつ
- 5字 おもいやり すてきだね たすけあい
あそぼうね たのしいよ
- 4字 ともだち なかよし やさしさ

街角風景



ヘメロカリス
【菅】



庭のサクランボ
【和久】

✿ 編集後記 ✿

今年度「芽生え」の発行は3回を予定しています。紹介する記事が皆さんの心に残るものを目指しながら、知って欲しいこと、考えて欲しいこと、そして楽しめるものも掲載したいと思います。

今回の「芽生え」もぜひお楽しみください。 【津国】

宝同協だより「芽生え」編集委員

- 津国 千恵子・菅 理香・平松 友紀・坂野 はるみ
- 木下 真里・尾上 宏一・稲垣 久和・池澤 径子
- 和久 有彦・美除 浩・加藤 謙太・石櫃 孝啓
- 荻野 雅憲・登日綱 勢津子